==========================================================================

\*\* 日本学術会議ニュース・メール　\*\*　No.532　\*\*　2016/1/25

==========================================================================

■-----------------------------------------------------------------------

　「TICAD VI in Nairobi: スマート・ドナーとして何を発信するのか？」

　の開催について（ご案内）

-----------------------------------------------------------------------■

・日　　時：平成28年2月12日（金）16：00～18：00

・場　　所：独立行政法人国際協力機構研究所（国際協力機構市ヶ谷ビル）

　　　　　　（〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5）

・主　　催：地域研究委員会国際地域開発研究分科会

・共　　催：独立行政法人国際協力機構（JICA）

・開催趣旨：

　途上国経済を効果的に発展させる開発戦略に関しては、いまだわからないところが

大きい。そのために、開発援助の世界は地図もないまま行先もわからずに漂流を続け

ている感がある。そうした現状を打破するために、日本学術会議では、地域研究委員

会・国際地域開発研究分科会（委員長：大塚啓二郎）を中心に、効果的な開発戦略・

国際的支援のあり方について議論を重ねてきた。

　2016年夏にTICAD VIがナイロビで開催されるというタイミングをとらえ、学術会

議側の研究者の見解を提示し、民間企業、JICA、外務省の担当者と意見を交わしたい

と考え、公開シンポジウムを企画することにした。このシンポジウムを通じて産官学

の連携を強め、効果的な国際協力に向けた日本からの発信につなげたい。

・次　　第：

司　　会：黒崎 卓（日本学術会議連携会員、一橋大学経済研究所教授）

【パネル討論会】

●研究者の視点から（16：00～16：50）

　・園部　哲史（日本学術会議連携会員、政策研究大学院大学政策研究科教授）

　　Kaizenマネージメントの評価と発展方向

　・浦田　秀次郎（日本学術会議連携会員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

　　Kaizenから直接投資までの支援のパッケージを

　・大塚　啓二郎（日本学術会議第一部会員、政策研究大学院大学政策研究科教授）

　　CARD（アフリカ稲作振興のための共同体）の現状と課題

　・不破　信彦（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

　　SHEP（小規模園芸農民組織強化計画）の意義と発展方向

●実践的立場から（16：50～17：25）

　・藤森　義明（公益社団法人経済同友会幹事、経済連携委員会委員長、LIXILグループ

　　　　　　　　取締役代表執行役社長兼CEO）

　　民間企業の視点から

　・丸山　則夫（外務省アフリカ部部長）

　　外務省はこう考える

　・北岡　伸一（JICA理事長）

　　JICAはこう考える

●一般討論（17：25～18：00）

【参加無料・入場自由・事前申込不要】

【問合せ先】

　地域研究委員会国際地域開発研究分科会委員長　大塚 啓二郎

　E-Mail：[otsuka@grips.ac.jp](mailto:otsuka@grips.ac.jp)

　TEL　 ：03-6439-6228（政策研究大学院大学）

★-----------------------------------------------------------------------☆

　日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

　　　　　　　　　 アカウントは、@scj\_info　です。

　　　　　　　 日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

<http://twitter.com/scj_info>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

　　　　　　 学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

===========================================================================

　日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転

載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけ

るようにお取り計らいください。

　本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらか

じめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記

載がありますので、そちらからお願いいたします。

===========================================================================

　　発行：日本学術会議事務局　<http://www.scj.go.jp/>

　　　　 〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34